

ジェイアール東日本都市開発の分譲マンションブランド
「BIARE（ビアレ）」が誕生します。
第一弾「ビアレ北浦和」は7月18日より公式HP公開
新ブランドにより事業拡大へ

1. 分譲マンションブランド「BIARE（ビアレ）」^{※1}誕生

株式会社ジェイアール東日本都市開発（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：根本 英紀）は、分譲マンションブランド「BIARE（ビアレ）」を新たに立ち上げることを決定いたしましたので、お知らせいたします。

BIARE は、“やがて、街になる住まい”をブランドコンセプトに掲げ、住まいが街の一部として自然に溶け込み、地域と共に歩んでいく新しい共同住宅のあり方を提案するブランドです。

当社はこれまで、駅や高架下を中心に、人と人、人と街、街と街をつなげる開発を推進してまいりました。BIARE はその延長線上にある、分譲マンションという新たなフィールドでの挑戦です。住む人が自分らしくいられる“居場所”を提供するとともに、地域に開かれた場所として、街と心地よくつながる暮らしを育んでいきます。そこから生まれる心地よい暮らしが街に染み出していくことで、いつしか誰からも愛される街の一部になっていく。そんな未来を見据えた住まいのあり方を、BIARE は目指しています。

なお、ブランドの世界観やコンセプトを紹介する BIARE 公式ホームページを、2025 年 7 月 18 日（金）に公開予定です。ブランドの詳細をご覧いただけるコンテンツも順次展開してまいりますので、ぜひご期待ください。

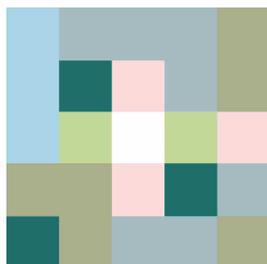
（URL : <https://jrta.jp/biare/>）

■ブランド名「BIARE」に込められた意味

ブランド名「BIARE」は、「be an area（その地域になる）」という言葉に由来し、街の文化や人々の営みに寄り添いながら、街そのものを形づくっていく存在であることを象徴しています。また、be/is/am/are といった英語のつなぎ言葉の頭文字を含むことで、“あらゆるものを自然につなぐ存在”という意味も込められています。

■ブランドロゴ

やがて、街になる住まい



BIARE

■ブランドストーリー

人を見つめている。その価値観や暮らし、生きかたを考えている。
それぞれの自分らしさを大切にして生きること。
人やものと、ゆるやかにつながりながら、
ずっと、生きている実感でみたまされる。そんな毎日がつづいていくこと。

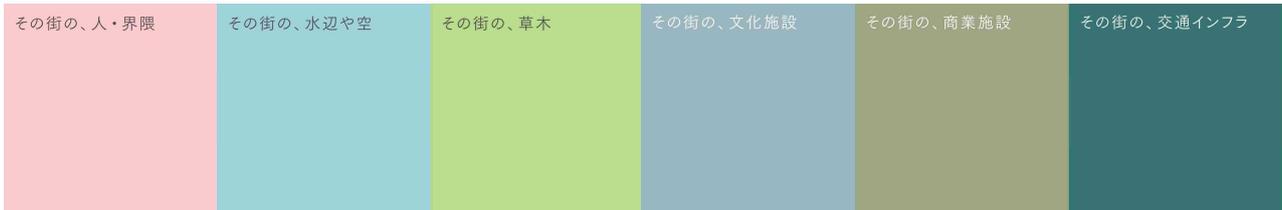
そこから、住まいをつくっていく。
あらゆるカベや線引きのない自然な流れのなかで、
ありのままの関係性が育つ場所へ。
自分にとってのちょうどいい距離感が、自分で選択できる場所へ。
住まいの在り方を変えていくこと。

そうして、街がつくられていく。
この場所で育まれる心地よく暮らしや生きかたが、
染み出し、広がっていくことで、
いつしか、誰からも愛される街になっていく。そのために。

人と人、人と街。そのあいだに、やさしくつながる住まいをつくる。
ジェイアール東日本都市開発のあたらしい分譲マンションブランドです。

■ブランドロゴについて

BIARE のブランドロゴは、街を構成する多様な要素を抽象化したシンボルと、親しみやすく先進的なロゴタイプで構成されています。シンボルには、人・界隈、水辺や空、草木、文化施設、商業施設、交通インフラなど、人と街が心地よく共存する環境がモザイク状に象徴的に表現されています。これは、BIARE がその街の一部として自然に溶け込み、地域の魅力と調和しながら存在する姿を視覚的に示すものであり、ロゴ全体を通じて「やがて、街になる住まい」というブランドコンセプトを表現しています。



■BIARE の特徴

<BIARE の目指す姿>

単なる居住空間としての住まいではなく、人と街、人と人がやさしくつながる場所としての住まいである「やがて、街になる住まい」というブランドコンセプトを設計に反映します。

・BIARE の住まい

住戸は、効率的な動線設計と上質な素材の使用により、暮らしの質を高めます。また、個々のライフスタイルに寄り添った空間を提供するとともに、物件ごとに特徴ある間取りをご用意する予定です。

・住民同士のつながり

挨拶や会話が自然に生まれるような共用空間や動線設計を取り入れ、住民同士が心地よくつながる「居場所」を創出。ゆるやかな交流が育まれることで、住まいから街へと心地よい空気が広がる暮らしを目指しています。

・街とのつながり

地域に開かれた外構やオープンスペースを設けるなど、日常の中に自然な交流が生まれるよう、設計に工夫を凝らします。さらに、地域の環境や記憶との調和を大切に、街の景観に溶け込む落ち着いた佇まいを目指します。

<JR 東日本グループならではのサービス>

ビューカードや JRE POINT との連携のほか、「移動のデバイス」から「生活のデバイス」へと進化していく Suica の活用など、J R 東日本グループの特色を活かした入居者向けサービスも展開予定です。

※ 1 「BIARE」は現在、商標登録出願中です。

2. BIARE 第一弾プロジェクト ビアレ北浦和

■JR 京浜東北線「北浦和」駅徒歩 10 分×イオン徒歩 1 分×小学校徒歩 4 分のロケーション

本物件は、JR 京浜東北線「北浦和」駅から徒歩 10 分、JR 埼京線「南与野」駅から徒歩 13 分と、都心へのアクセスに優れた立地です。「北浦和」駅まではフラットな道のりで、通勤・通学も快適。ベビーカーでのお出かけにも適した環境が整っています。徒歩 1 分の場所にはイオンがあり、さらに地域に根ざした 2 つの商店街が日々の買い物をサポート。生活利便性は抜群です。小学校までは徒歩 4 分と近く、子育て世代にも安心の住環境が整っています。また、近隣には緑豊かな「北浦和公園」があり、四季折々の自然を身近に感じることができます。教育・交通・商業・自然がバランスよく揃ったこのロケーションで、BIARE の歴史が始まります。

(4) 環境と共生するサステナブル設計

本プロジェクトでは「ZEH-M Oriented^{※3}」と「低炭素建築物認定」の両方を取得予定。太陽光発電を導入し、環境負荷を軽減。また、太陽光発電設備で発電された電力は、マンション共用部で自家消費するため、共用部電気代のご負担の低減につながります。

(5) JR 東日本グループの特別なサービス

①管理費等のビューカード決済

月々の管理費などをビューカードでお支払いいただくと、1,000円(税込)につき、JRE POINTが5ポイント貯まります。またビューカードスタンダード、JRE CARDで管理費などをお支払いいただいている期間中は、年会費が無料^{※4}となります。



②「ジエクサー・フィットネス&スパ 24 浦和」施設ご利用サービス（期間 6ヵ月）

購入者特典として、1 住戸につき会員カードを2枚付与させていただきます。住戸ごとのご登録となりますので、マンションにお住まいの方であれば施設全てご利用可能です。また、親子で楽しめる入居者イベントも開催予定です。



③オレンジページ監修の共用部ライブラリー

The Orangepage Inc.

生活情報誌『オレンジページ』を刊行し、*半歩先の心地いい暮らし*を提案する

株式会社オレンジページが、子育て世代等に向けたライフスタイル、育児、旅、アートなどの書籍をセレクト。毎日の暮らしをワクワクさせる、居心地よいライブラリーを提供します。

※2：一部住戸のみ

※3：ZEH-M Orientedとは、マンション全体の一次エネルギー消費量を20%以上削減し、高い断熱性能と省エネ性を兼ね備えた環境配慮型のマンションのことです。

※4：ビューカードスタンダード入会の場合、「ビアレ北浦和」購入者限定で初年度年会費524円(税込)が無料となります。(クレジットカード入会時にキャンペーンコードの入力が必須となります)。ビューカードスタンダード、JRE CARDは通常2年目以降年会費524円(税込)がかかる。 「ビアレ北浦和」購入者限定で管理費のお支払いが株式会社ビューカードにて確認できた場合、支払い確認の翌年の年会費が無料となります。

■ 現地案内図



■ URL <https://jrkt.jp/biare/kitaurawa>

■ビアレ北浦和 物件概要

所在地	埼玉県さいたま市中央区新中里一丁目 652 番 1 (地番)
交通	JR 京浜東北線「北浦和」駅 徒歩 10 分/ JR 埼京線「南与野」駅 徒歩 13 分
構造・階数	鉄筋コンクリート造地上 7 階建
敷地面積	3,686.10 m ²
延床面積	8,218.22 m ²
戸数・間取り	107 戸 2LDK~4LDK
入居開始日	2027 年 3 月 (予定)
設計者	株式会社長谷工コーポレーション
施工者	株式会社長谷工コーポレーション
売主	株式会社ジェイアール東日本都市開発
スケジュール	マンションギャラリーオープン : 2025 年 10 月中旬 (予定) 販売開始 : 2025 年 11 月下旬 (予定) 竣工 : 2027 年 2 月下旬 (予定)

<BIARE (ビアレ) に関するお問い合わせ先>

株式会社ジェイアール東日本都市開発 オフィス・住宅事業本部 開発企画部
担当 : 村脇 (j-murawaki@jrkt.co.jp)

<「ビアレ北浦和」に関するお問い合わせ先>

株式会社ジェイアール東日本都市開発 オフィス・住宅事業本部 開発企画部
担当 : 新津 (m-niitsu@jrkt.co.jp)
北田 (h-kitada@jrkt.co.jp)